



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,135	△0.1	△246	—	△217	—	△290	—
29年3月期第1四半期	8,142	△9.9	△289	—	△346	—	△400	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △477百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △1,005百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△8.58	—
29年3月期第1四半期	△11.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	51,246	41,357	76.8
29年3月期	54,294	42,307	74.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 39,349百万円 29年3月期 40,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期配当金の内訳 安定配当20円 記念配当2円

30年3月期配当金(予想)につきましては、平成29年5月2日に「平成29年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,300	4.5	750	0.8	800	18.6	350	51.6	10.34
通期	47,000	10.6	3,600	22.6	3,700	21.7	2,250	28.5	66.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	34,536,635株	29年3月期	34,536,635株
30年3月期1Q	674,075株	29年3月期	674,135株
30年3月期1Q	33,862,554株	29年3月期1Q	33,862,657株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が継続しましたが、欧米の政治的リスクやアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。国内では交通施設や商業施設向けに多言語放送サービスの提供を開始するなど、商品ラインアップの拡充を進めております。また、海外各地域での開発・生産・販売の推進を継続し、事業拡大に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における売上高は8,135百万円（前年同四半期比△7百万円、0.1%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費は減少しましたが、営業利益は△246百万円（前年同四半期比+42百万円）、経常利益は△217百万円（前年同四半期比+128百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△290百万円（前年同四半期比+109百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

売上高は4,488百万円（前年同四半期比△57百万円、1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は408百万円（前年同四半期比+175百万円、75.2%増）となりました。

自治体向けに防災用スリムスピーカーの販売が伸長した一方、セキュリティ商品の販売が減少したことで売上高は減少しましたが、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、セグメント利益は増加しました。

（アメリカ）

売上高は905百万円（前年同四半期比+25百万円、2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は18百万円（前年同四半期比△15百万円、45.5%減）となりました。

アメリカで商業施設向けに放送設備の売上高が増加しました。また、鉄道車両向けの販売も堅調に推移しましたが、原価率の上昇などによりセグメント利益は減少しました。

（欧州・中東・アフリカ）

売上高は1,094百万円（前年同四半期比+18百万円、1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は73百万円（前年同四半期比+10百万円、16.4%増）となりました。

為替円高による売上高の目減りはありましたが、欧州やアフリカでの販売が堅調に推移し、売上高、セグメント利益は増加しました。

（アジア・パシフィック）

売上高は1,408百万円（前年同四半期比+113百万円、8.8%増）、セグメント利益（営業利益）は114百万円（前年同四半期比+11百万円、10.8%増）となりました。

インドネシアやタイ、ベトナムでの地域商品の販売が堅調に推移しました。また、マレーシアでは商業施設向けの売上高が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（中国・東アジア）

売上高は238百万円（前年同四半期比△106百万円、30.9%減）、セグメント利益（営業利益）は55百万円（前年同四半期比△56百万円、50.7%減）となりました。

台湾では工場やオフィス向けの販売が堅調に推移しましたが、中国や香港での売上高が減少したことにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は51,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,048百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、配当金支払による利益剰余金の減少などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、「平成29年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,500	15,596
受取手形及び売掛金	9,941	7,027
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,547	5,932
仕掛品	842	919
原材料及び貯蔵品	2,438	2,327
その他	1,237	1,615
貸倒引当金	△76	△63
流動資産合計	39,932	36,855
固定資産		
有形固定資産	6,276	6,198
無形固定資産	1,510	1,501
投資その他の資産		
投資有価証券	5,631	5,692
投資その他の資産	962	1,013
貸倒引当金	△18	△14
投資その他の資産合計	6,575	6,691
固定資産合計	14,362	14,391
資産合計	54,294	51,246
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,926	3,004
短期借入金	1,292	768
未払法人税等	514	116
引当金	167	139
その他	1,984	1,669
流動負債合計	7,885	5,698
固定負債		
退職給付に係る負債	2,739	2,807
その他	1,362	1,382
固定負債合計	4,102	4,190
負債合計	11,987	9,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	25,930	25,234
自己株式	△393	△393
株主資本合計	37,683	36,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308	3,349
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△683	△907
退職給付に係る調整累計額	△66	△79
その他の包括利益累計額合計	2,558	2,362
非支配株主持分	2,065	2,007
純資産合計	42,307	41,357
負債純資産合計	54,294	51,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,142	8,135
売上原価	4,542	4,574
売上総利益	3,600	3,561
販売費及び一般管理費	3,889	3,807
営業損失(△)	△289	△246
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	34	37
その他	15	17
営業外収益合計	56	61
営業外費用		
支払利息	6	7
為替差損	102	23
その他	4	1
営業外費用合計	113	32
経常損失(△)	△346	△217
税金等調整前四半期純損失(△)	△346	△217
法人税等	△6	38
四半期純損失(△)	△340	△256
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	33
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△400	△290

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△340	△256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	40
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△556	△242
退職給付に係る調整額	△19	△19
その他の包括利益合計	△665	△220
四半期包括利益	△1,005	△477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△966	△486
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,546	880	1,076	1,294	345	8,142	—	8,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,350	7	2	966	1,058	3,385	△3,385	—
計	5,896	887	1,079	2,260	1,403	11,528	△3,385	8,142
セグメント利益	232	33	62	103	111	544	△833	△289

(注)1. セグメント利益の調整額△833百万円には、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△892百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,488	905	1,094	1,408	238	8,135	—	8,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,464	14	0	866	1,032	3,378	△3,378	—
計	5,953	919	1,095	2,274	1,271	11,513	△3,378	8,135
セグメント利益	408	18	73	114	55	669	△915	△246

(注)1. セグメント利益の調整額△915百万円には、セグメント間取引消去△55百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△859百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。